



No. 11

西東京市男女平等推進センター



2014年3月31日発行

## 第6回パリテまつりを開催

女(ひと)と男(ひと)、手を取りあえる社会へ

《期間:2014年1月28日(火)~2月7日(金) 場所:住吉会館ルピナス》

### 「女も男も、すべての者が参加できる社会に~格差と貧困~」

講師 湯浅 誠さん (社会活動家)

2月1日(土)午後2時からのメイン講演会は社会活動家の湯浅誠さんが登場! 序盤では西東京市とのご縁や、都知事選にも触れられ、まずは身近なお話で聴衆の関心を引き寄せます。

そして、社会を変えていくにはどうしたらよいのか、どうやって市民の動きを拡大させていくとよいのかなど、市民活動の最前線で活躍される湯浅さんならではの、活動の悩ましさを通した貴重なお話を聞くことができました。

湯浅 誠さん



熱心に聞き入る参加者



魅力いっぱいの講座やイベントのご報告は次ページで!

- P1 第6回パリテまつりを開催
- P2, 3 パリテまつり講座、イベントなどの報告
- P4 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」ってなあに?  
(性と生殖に関する健康とその権利)
- P5 企画運営委員会委員の報告と懇談のつどい
- P6 平成25年度のパリテ事業報告(後半)

## パリテまつり講座、イベントなどの報告

### (1) 憲法落語～男女平等をうたう憲法～

団体名：新日本婦人の会西東京支部

講師：八木亭みややっこ こと 飯田 美弥子さん（八王子合同法律事務所 弁護士）

今「憲法」があぶない？と叫ばれている中、私達は憲法についてどの位知っているのだろうか？そんな疑問から企画しました。落語というツールで「憲法」の話をしている弁護士の「みややっこ」さんにお話ししてお話を伺いました。歴史をふまえて「日本国憲法」を語っていただき、世界的な視野からのお話でわかりやすく楽しく学習し、参加者からも憲法の大切さがわかった。等と好評でした。



### (2) 暴力団と売春～女性の貧困を考える～

団体名：べいてい～ず

講師：岡本 健志さん（オルカス法律事務所 弁護士）

暴力団という背景に薄々気づきながらも売春を始める女性たちのことを、今よりもう一步踏み込むことで、女性自身を批判したり、無関心でいてはいけないと「気づき」を得ることができました。また参加者からは、現実の切実感とおし社会問題として捉え学ぶことの重要性などが声に上がり、今後の講座企画に繋げ、活かしていくための大きな収穫となりました。



### (3) 今さらだけど、差別ってなーに？

団体名：西東京市福祉推進協議会

講師：綿 祐二さん（日本福祉大学 福祉経済学部 教授／西東京市障害者自立支援協議会 会長／社会福祉法人 睦月会 理事長）

障がい者のいる家族会員が親戚き後の子どもの自立、グループホーム建設に当たり、近隣住民の合意が得られないという苦労話を聞き、障がい者への理解を深められればと企画しました。知らない事が偏見、差別を生んでいます。解決策は「話し合い」、いろいろな人と出会い、キーワードである「合理性」をどう模索するかだそうです。



### (4) はじめての自力整体

団体名：NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちろりん村

講師：森崎 文子さん（予防医学・自力整体 予防医学指導士）

自分で身体のツボ・経絡（けいらく）を刺激しながら、呼吸と気持ちをリラックスさせ整体していく運動です。会場は広く静かで設備も充実。自力整体を行うには最適な場所でした。参加者は 44 名。アンケートの結果ではとても満足いただけようでした。参加年齢はとても幅広く、若い方からご年配の方まで、市報掲載後あっという間に定員一杯になった人気の企画でした。



### (5) 鬼のお面をつくろう！

団体名：NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちろりん村

講師：高島 美希さん（とーち・カーチアトリエ）

開始と同時に待ちかねた親子連れで、すぐにテーブルは一杯。色画用紙や毛糸、色紙やシールなど多様な素材を使って、講師の指導の下に思い思いの鬼のお面を親子で作りました。0 才～小学生までの 72 組が参加されました。「こわい鬼にする！」「笑ってる鬼がいい！」と元気な声が飛び交い、昨年以上に表情が豊かな鬼ができました。出来上がった時の笑顔は素敵でした。



### (6) パソコン体験会

団体名：特定非営利活動法人西東京 NPO 推進センター〔セブロス〕

ワードで画像処理をしよう

講師：前波 俊子さん（シニア情報生活アドバイザー）

身近なワードを使ってパリテまつりのポスターを作りました。25 年度の各種事業や、イベントの写真を素材として色々加工の勉強をしました。明るさや色合いを調整したり、トリミングで不要部分を切り取ったり、飾り枠を付けたり、背景を消して対象を強調したり、見違えるように見栄えの良くなった写真にタイトルを加えて綺麗なポスターを作り、印刷してお土産にしました。



### デジカメの動画や写真で DVD を作ろう

講師：木村 由美さん（マイクロソフト MOS スペシャリスト）

デジカメ写真のアルバムはよくありますが、今回は DVD を作ってみました。題材は男女平等の推進。デジカメで撮った写真や動画を取り込み、不要部分を省いたり、順番をかえて骨組みの作成。それに説明の文字や音楽、各種効果を加えて大筋完了。最後に先頭のタイトルや最後の締め（撮影者、撮影場所等）を入れて完成です。DVD に書き込んでお土産も出来ました。



### (7) 上映会「ベアテの贈りもの」

団体名：I（アイ）女性会議保谷支部

この映画は、日本国憲法第 14 条と 24 条に男女平等条項を書き込んだベアテ・シロタ・ゴードンさんの生い立ちと、戦後日本の女性が 14 条・24 条を根拠にして、その社会的地位を粘り強く勝ち取ってきた様子を描いたものです。上映後には「もっとたくさんの人に観てもらいたい」「法律はできても日本の女性の地位はまだ低い、運動はまだ続く、歴史の後戻りはできない。」等の感想がありました。



### (8) 地域女性史を読む意義と楽しむ

団体名：西東京市女性史研究会

講師：折井 美耶子さん（地域女性史研究者）

地域女性史とは、自分たちが住む場所の祖母・母たちの日々の歩みや活動の記録です。女性は命をつなぐ存在であり、その日々の暮らしは次世代に続く大切な歴史です。地域と日本を支えてきた女性たちの歩みを正実に歴史に反映させ、地域の歴史を知り愛することで、子どもたちに未来をパトタッチしていくこと。これが地域女性史の役割です。



### (9) パパの初めてのバルーンアート講座

団体名：西東京市ババクラブ

講師：こたパパさん（バルーンアーティスト）

恒例となった 3 回目の講座です。最初に、犬、剣と定番アイテムを、最後は編み物のように編んでいく、電波塔を作りました。大きく目立つアイテムで、みなさん、驚き、喜んでいました。また、こたパパさんからの楽しいキャラクターバルーンのプレゼントに子どもたちも喜んでいました。お子様 1 名が会場でけがをなされたことが反省点で、再発防止に努めます。



パープルボンプロジェクトのタペストリー展示



講演会、講座の後にはカフェでほっこり

# 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」ってなあに？ (性と生殖に関する健康とその権利)



リプロさん

1994年にエジプトで開かれた国連主催の「国際人口・開発会議」で国際的に承認されていて、「基本的な人権」にも深く関係しています。

思春期、妊娠、周産期、更年期、高齢期も、そして子どもを持たないライフスタイルの人々のことも含まれます。

単に疾病、障害でないというばかりではなく、**身体的、精神的、社会的**に完全に良好な状態にあることを示します。



ふーん

『**身体的、精神的、社会的**に良好な状態』か・・・！！  
奥が深いんだなあ～

国際的に承認されているというのはわかったけど、日本に課題があるのかな？



パリテさん

日本では、性に関する課題を大人がタブー視しがちでした。今いろんな情報が氾濫する中、若者は正しい情報やサービスを得られにくい状況にあります……。だから 10代で望まぬ妊娠・出産をしたり、中絶で健康を害したり、性感染症になったりと、**身体的にも精神的にも社会的にも**リスクが高く、健康を害してしまう若者が後をたちません。

じゃあ・・・

大人が正しい知識を教えてあげればいいのかなあ？



子どもから、高齢者まで恋愛感情を持つことはあたりまえだよ

子どもを持たない選択だつてあるんだよ

大人は教えてくれないし、恥ずかしくて聞けない！  
ネットで調べちゃえ！



誰だって、DVの加害者にも被害者にもなりたくないよね！

自分で考えて、自分で決めることが大事なんだよね！



## 基本的な人権

の視点からも、「自己決定権」を保障するため女性はその力をつける重要性は、国連の女性会議で繰り返し確認されています。

HIV/エイズについて誰か教えてくれないかなあ！



リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康とその権利）は女性の生涯を通じた健康問題です。男女や若者が巻き込まれがちな性のトラブルだけでなく、不妊、DV、児童ポルノなど課題は多岐にわたります。

性については・・・若いうちから、また若者を取り巻く大人自身も正しい教育、知識、情報を得ることが大切です。男女が共に関心を持ち対等な立場でコミュニケーションをとりながら取り組んでいけたらいいですね。



# 企画運営委員会委員の報告と懇談のつどい

## 【概要】

実施日 3月15日（土）午前10時～正午

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室

進行内容

- 1 協働コミュニティ課から
- 2 企画運営委員会委員紹介
- 3 本日の趣旨及び平成25年度の事業について
- 4 各事業報告について



## 【ご意見・ご要望】

- ◆ ワークライフバランスの講座を継続して欲しい。
- ◆ エンディングノートは、お墓関係に詳しい方らしいセミナーだった。ただ、必ずしも、エンディングノート全般の総合的なセミナーではなかった。
- ◆ 自立支援講座について、分かりやすい、難しいという両方の意見がある。マッチングの難しさがある。
- ◆ パリテの講座の情報が目につかない。外に打って出ることでも必要ではないか？
- ◆ 全体で、400名くらいの参加者ではもったいないのかもしれない。
- ◆ 男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査報告書（平成25年3月）記載の法律の認知度。全く知らない、7割から8割にもものぼる。告知不足ではないか？
- ◆ 男女平等参画に関する西東京市民意識・実態調査報告書（平成25年3月）の中に平成19年調査との比較がある、結婚、家庭についての考えが保守化しすぎていないか？パリテ以外の場所でも行き、意識改革を進めていく必要があるのではないか？
- ◆ 民生委員の話では、今、介護虐待が問題となっている。独身男性の母親への虐待が多いようだ。
- ◆ 男性向けの講座は、若い男性向けの講座が多い。ワークライフバランス、ジェンダーなどの意識向上に取り組み、年配の男性を取り込んで欲しい。
- ◆ 地理的に不便なところはある。どうやって来てもらうのか、考える必要がある。いかにみんなが集まれる中身をどう検討して、普及させていくか、課題なのではないか。
- ◆ 普及活動が目に見えるところであったらいいのかもしれない。広報活動が重要ではないか。
- ◆ 介護、障害者の点から、関わる事が多い。男性が少ない。いっしょになって、活動していかないといけないのではないか。
- ◆ DVの問題で相談に来られる方は、まだいい方かもしれない。（深刻な場合は相談にさえ来られないのではないか？）
- ◆ 男女平等の推進に逆行している統計が有る。男女平等ということが市民に理解されていない。
- ◆ DVをテーマになにか、企画ができるといい。
- ◆ ホームページをもっと活用してもいいのではないか。
- ◆ 男女平等について、必要に迫られ、運動してきた。自立に目覚めた。
- ◆ 安易な考えをもっているのではないか。しっかり、男女平等とはどういう事か、考えていかないといけない。

## 【企画運営委員から】

- 3名の男性参加者があり貴重なパリテの事業へのご意見やご要望が伺えました。今後はさらに、男性たちへの積極的なアプローチを心がけ、参加しやすい魅力ある内容の事業を展開したいと思いました。
- 一年間の企画事業に参加された方のご感想をいただきました。その中にタイトルと内容の違和感やチラシの期待感で参加された時の満足感や物足りなさなどの指摘がありました。
- 多くの市民の方々にお知らせが届くよう、関心を持っていただける広報の仕方に工夫が必要だと思いました。また事業を継続することで、男女平等推進センター パリテを知っていただくことに繋がるとのご意見もいただき、これからの励みにもなりました。
- 講座の内容は、告知、広報の内容について、いろいろな意見を聞くことができ、参考になりました。自分だけの感覚ではなく、いろいろな方のご意見を取り込んで、パリテを市民の居場所として定着するよう盛り上げていきたいと思いました。



## 平成25年度のパリテ事業報告（後半）

### 仕事と子育てグループ相談会

～育休前後のあなたの悩みや不安をシェアします～

実施日 平成25年10月2日（水）午前10時～正午

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室 参加 17人（保育13人）

講師 山口 理栄さん（育休後コンサルタント）

- ◆ 育休後復職するにあたり、考え方などとても参考になった。
- ◆ 自分自身の気持ちの整理ができた。気持ちを前向きにしてくれる「まほうの言葉」となった。
- ◆ 自分がどうしたいか、周りにわかってもらうためにどうしたら良いのか考えていきたいと思う。



### 育メンカアップ講座

～保活体験をして、家族のこと、地域のことを考えよう～

実施日 平成25年10月20日（日）午前10時～正午

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室 参加 16人（保育11人）

講師 神谷 隆さん（西東京市子育て支援部 保育課長）

- ◆ 他のパパとのディスカッションや話が聞けて良かった。申請書を記入するなど知らないことも多いことを痛感した。
- ◆ もっと積極的に育児や今回のような講座に参加していきたいと思った。
- ◆ 父親限定にして父親の悩みや相談もあれば良いと思った。



### 女性に対する暴力をなくす運動週間事業（11月12日～25日）

リレートーク 自分を大切に生きる生き方

実施日 平成25年11月16日（土）午後1時～3時

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室 参加 23人（保育3人）

講師 佐野 優さん（社会的養護の当事者参加民間グループ「こもれび」代表）

関口 久志さん（京都教育大学 教育支援センター准教授）

- ◆ 貧困の問題をわかりやすく聴くことができた。自己肯定の大切さを知った。
- ◆ 佐野さんの体験に心を打たれた。清らかさを保ち、自分を分析する知性が素晴らしい。関口先生は佐野さんの体験を理解され、理論的に説明されており、リレートークが成功していた。
- ◆ 貧困と暴力の関係を聞いて驚いた。正規、非正規の格差が強いては自己否定、性暴力などにつながり、根が深いと思った。



### 映画「Happy」に学ぶダイバーシティ

～みんなで学ぶワークショップ～

実施日 平成25年11月20日（水）午前10時～正午

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室 参加 10人（保育6人）

講師 森林 育代さん（NPO法人ダイバーシティコミュ代表理事）

- ◆ たくさんの登場人物の語りにも共感した。科学的に幸福度を計ることに驚き、そういうことが必要な社会に不安も感じる。
- ◆ 本当の幸せとは何か考えてみようと思った。日本がもっと幸せになるためにどうしたら良いか考えていきたい。自分や周りの人が幸せだということに気付いてよかった。
- ◆ 映画を観てその感想をシェアし合うというワークのセットがとても良かった。今後も同様の企画を期待する。



### エンディングノートの書き方

～大切な人に思いを届けるノート～

実施日 平成26年3月6日（木）午後1時30分～3時30分

会場 住吉会館ルピナス2階 研修室 参加 56人（保育0人）

講師 長江 曜子さん（NPO法人あかね理事長・聖徳大学教授）

- ◆ 白紙のままのエンディングノートが埋められそう。お話も聴きやすく、有意義だった。
- ◆ エンディングノートにまとめる項目が葬儀に偏っていると思う。次回開催を検討してほしい。



2014年3月31日発行

発行：西東京市生活文化スポーツ部協働コミュニティ課  
企画編集：男女平等推進センター パリテ企画運営委員会  
編集担当：田崎吉則、鶴崎紀子、成田啓子、本橋里実

〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館ルピナス内 ☎042-439-0075 FAX 042-422-5375(共通)